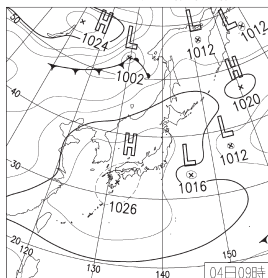


日々の天気図

— No. 183

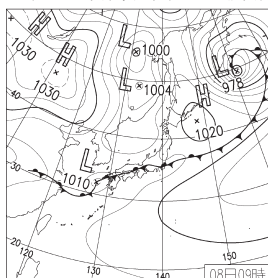
2017年 4月

- ・17～19日、西～北日本で大雨や暴風、風によるけが人、住家損壊、交通障害、土砂災害等多発。
- ・26日、石垣島で大雨、道路冠水、や床上・床下浸水が発生。
- ・28日、桜島が爆発的噴火。今年初。
- ・29日、各地で雷や強風・突風、落雷による火災や、強風でけが人も。(気象庁予報部予報課)



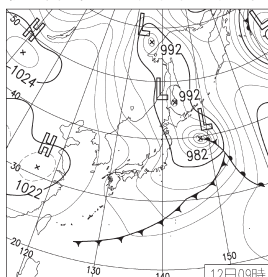
4日(火) 優勢な移動性高気圧

高気圧に覆われ各地とも晴れて、放射冷却により最低気温が九州を中心に2月並の所も。日中は全国的に昇温し、熊本県人吉で夏日に。大分・金沢市で桜花開花、岐阜市で桜花満開。



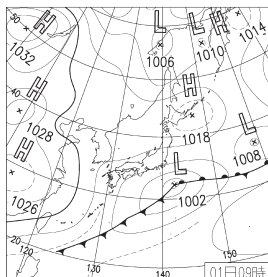
8日(土) 新潟・福島市で桜花開花

前線が停滞し西～東日本は南岸を中心に雨、北日本も気圧の谷の影響で曇りや雨。熊本・高松・奈良・富山市など各地で桜花満開。最高気温は山陰～北陸中心に5月下旬～6月並。



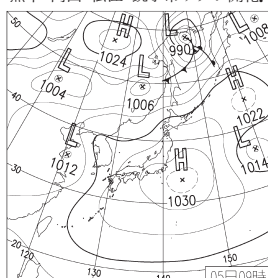
12日(水) 北日本に強い寒気流入

北日本上空に強い寒気が入り所々雪、10cmを超す日降雪量の所も。北海道羅臼で最大瞬間風速34.8m/s。西～東日本太平洋側は概ね晴れ。静岡・福島市で桜花満開、静岡市は最晩タイ。



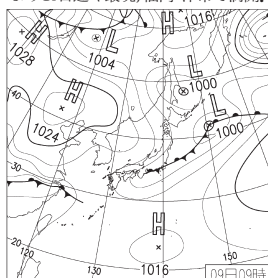
1日(土) 気温上がらず

前線の影響で沖縄・奄美は雨や曇り、湿った空気で近畿～東北の太平洋側も雨や雪。最高気温は全国的に平年以下で東海～関東は真冬並の所多数。熊本・岡山・松江・銚子市で桜花開花。



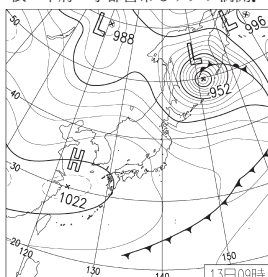
5日(水) 高気圧は日本の東へ

南から高気圧に覆われ晴れて気温上昇。北海道は風強く本泊で最大瞬間風速28.3m/s。桜花は鹿児島・彦根・福井・富山市で開花。鹿児島市は平年より10日遅く最晩。福岡・津市で満開。



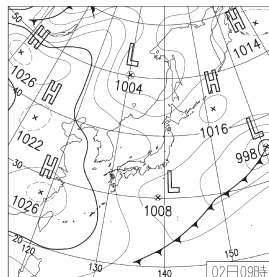
9日(日) 宮崎市など桜花満開

引き続き南岸に前線停滞し西～東日本や東北は曇りや雨。北日本は午後は高気圧に覆われ晴れ。最低気温は全国的に平年より高く5月並の所も。彦根・甲府・宇都宮市も桜花満開。



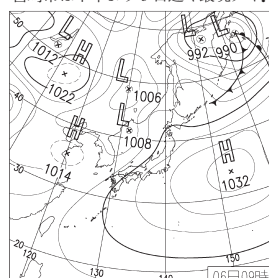
13日(木) 北海道を中心に雪

9時稚内上空約5000mで-44.4℃は4月1位の低さ。北日本は雪や雨で風強く各地で最大瞬間風速25m/s超。最高気温は3月並。西～東日本は晴れ。桜花満開新潟・仙台市、大分市は最晩。



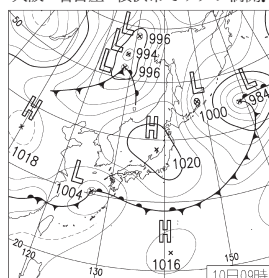
2日(日) 東京で桜花満開

全国的に高気圧に覆われ概ね晴れたが、西日本中心に寒気の影響で大気の状態不安定となり雨や雷雨の所も。桜花開花、鳥取・高松・静岡・前橋市、宮崎市は平年より9日遅く最晩タイ。



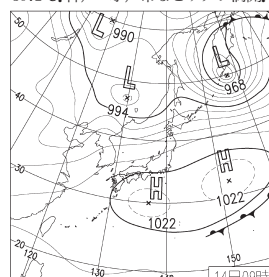
6日(木) 大阪市など桜花満開

気圧の谷東進に伴い雨が西日本～東・北日本へと広がる。前日の気温上昇の影響で北日本は平年より気温が高く、最高気温は5～7月並。高知・大阪・名古屋・横浜市で桜花満開。



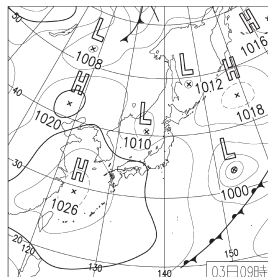
10日(月) 低気圧が九州の西へ

沖縄～西日本は曇りや雨、東日本は晴れ後曇り、北日本は晴れ。九州南部は激しい雨で日降水量100mm超。沖縄県で今年全国初の真夏日、所野30.2℃。神戸・水戸市など桜花満開。



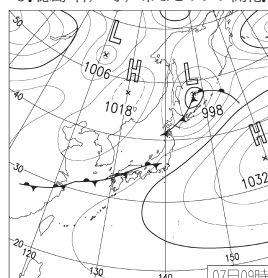
14日(金) 長野・山形市で桜花開花

先島諸島は湿った空気により曇り、気圧の谷の影響で北日本の一部で曇りや雨のほかは高気圧に覆われ晴れ。北日本で強風続く。最高気温は各地平年より高く北日本で6月並の所も。



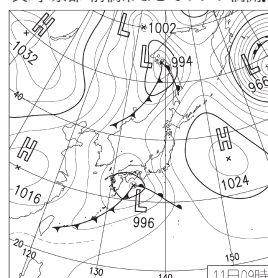
3日(月) 寒気が入り東日本で雷

沖縄～西日本は高気圧に覆われ晴れ。東～北日本も午前中は概ね晴れたが、上空に寒気が入り大気の状態不安定。午後所々で雨や雪、北陸・関東は雷も。徳島・神戸・水戸市など桜花開花。



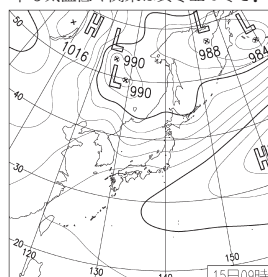
7日(金) 仙台市で桜花開花

前線・低気圧の影響で各地雨。九州南部など日降水量100mm超。鹿児島県八重山34mm/1hは4月1位。関東以北は午後晴れて最高気温7月並の所も。長崎・京都・前橋市などで桜花満開。



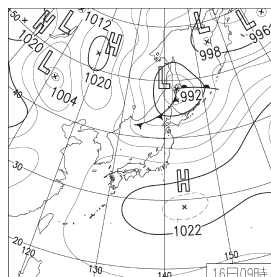
11日(火) 風雨強まり寒い一日

南岸を低気圧が発達・東進。西～北日本で雨。太平洋沿岸部で風雨強く東京都三宅島30.5mm/1h、八丈島など最大瞬間風速27.3m/s。西～東日本は日中も気温低く関東は真冬並の寒さ。



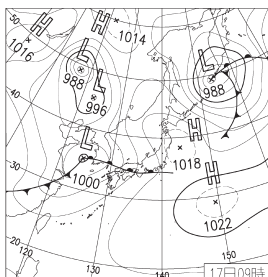
15日(土) 各地で雷や突風・ひょう

北陸～東北は曇りや雨、その他は晴れ。午後は西～東日本で大気の状態が不安定となり、にわか雨や雷雨も。水戸でひょう。岡山県倉敷市で突風。鹿児島市で桜花満開、最晩を更新。



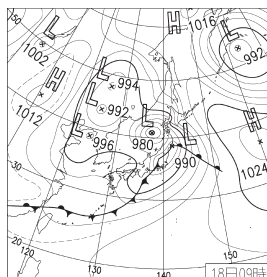
16日(日)東京今年初の夏日

九州南部は湿った空気入り鹿児島県中之島54mm/1h,日降水量4月1位の159mm,西～東日本中心に昇温し夏日。北日本は風強く最大瞬間風速青森県八戸31.6m/s,秋田市サクラ開花。



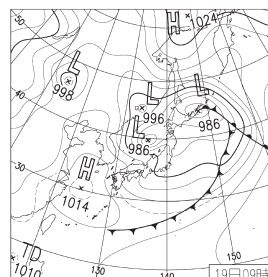
17日(月)低気圧が急速に発達

広範囲で雨風強まり高知県魚梁瀬75mm/1h,日降水量286.5mmなど西日本各地で4月1位の大雨,高知県室戸岬で最大瞬間風速35.4m/s,盛岡・青森市サクラ開花,長野・山形市満開。



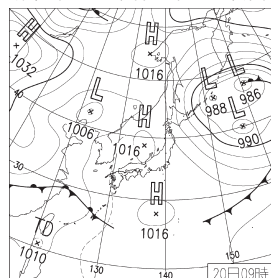
18日(火)春の風から真夏へ

日本海低気圧北上し各地非常に強い風,史上1位も。北海道で積雪,最大瞬間風速真狩42.2m/s,静岡県御前崎80.5mm/1hなど各地で4月1位,日中晴れて群馬県上里見30.6℃の真夏日。



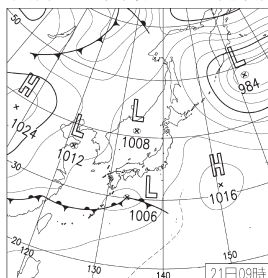
19日(水)秋田市,サクラ満開

日本海～北日本を寒気を伴った低気圧が東進,山陰～北陸や北日本は雨で雷も,最大瞬間風速は山形県飛鳥で36.3m/sなど東北中心に30m/s超,最大風速4月1位多数,史上1位の所も。



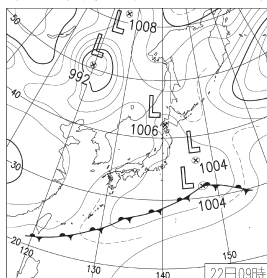
20日(木)北日本の強風おさまる

北日本中心に低気圧の影響が残り,最大瞬間風速は宮城県駒ノ湯32m/s,西～東日本は高気圧に覆われたが,気圧の谷接近で西から曇り,九州は次第に雨。茨城県で震度4相次ぐ。



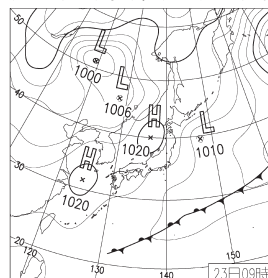
21日(金)青森市でサクラ満開

南西諸島は前線による雨,沖縄県川平で49.5mm/1hなど沖縄で激しい雨,最大瞬間風速は石垣島29.3m/s,西～東日本の太平洋側も曇りや雨。高気圧に覆われた日本海側は概ね晴れ。



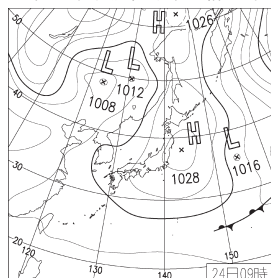
22日(土)北日本では雪の所も

前線の影響で沖縄・奄美は雨。北日本を寒冷低気圧東進し北海道を中心に雪や雨,北日本で最大7cmの日降雪量。気圧の谷通過で関東も午後雨,その他の西～東日本は概ね晴れ。



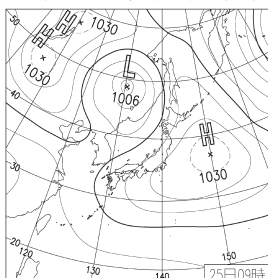
23日(日)高気圧ほぼ停滞

高気圧に覆われ全国的に概ね晴れ,沖縄と東～北日本は湿った空気などにより午前中に雨や雪の降った所も,最低気温は西日本を中心に,最高気温は北日本を中心に所々で3月並。



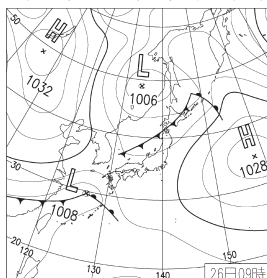
24日(月)盛岡市でサクラ満開

先島諸島は一部で雨,西～東日本の南岸の一部でも曇り雨降った所があったほか,全国的に高気圧に覆われ概ね晴れ。最低気温は西日本・北日本中心に3月並。



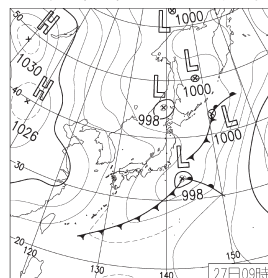
25日(火)日本海側で気温上昇

日本の東の高気圧に覆われ晴れた所多い,南から暖かい空気が流れ込み,北日本や日本海側中心に最高気温は6～7月中旬並,札幌20℃,午後は気圧の谷接近で西・北日本は雨の所も。



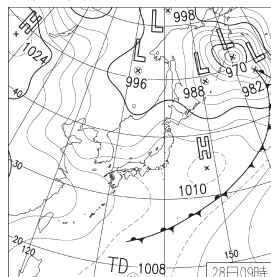
26日(水)台風第1号発生

前線を伴った南北2つの低気圧により西日本太平洋側や北日本日本海側中心に広く雨や雷,沖縄県石垣島で4月1位の98mm/1hの猛烈な雨,日降水量269.5mmなど沖縄は各地で大雨。



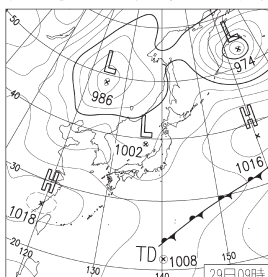
27日(木)函館市でサクラ開花

北海道で最初の開花,低気圧や前線を含む気圧の谷は東に進み西から高気圧が張り出す。全国的に所々で雨だが日中は東北以南の日本海側を中心に晴れ,台風は熱帯低気圧に。



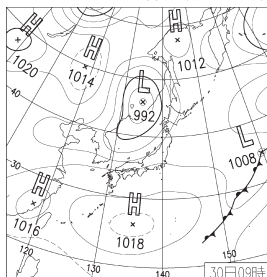
28日(金)北海道はさらに春めく

高気圧に覆われて全国的に概ね晴れ,沖縄は湿った空気の影響で所々雨,関東や北日本は,寒気の影響で大気の状態が不安定となり雨や雷雨の所も,札幌市でウメとサクラ開花。



29日(土)寒気入り各地で雷雨

西～北日本上空約5500mに-24℃以下の寒気が入り大気の状態が不安定,晴れた所多いが日中は東北や西～東日本各地で雷雲が発達しにわか雨や雷雨,西～東日本で強風・突風被害。



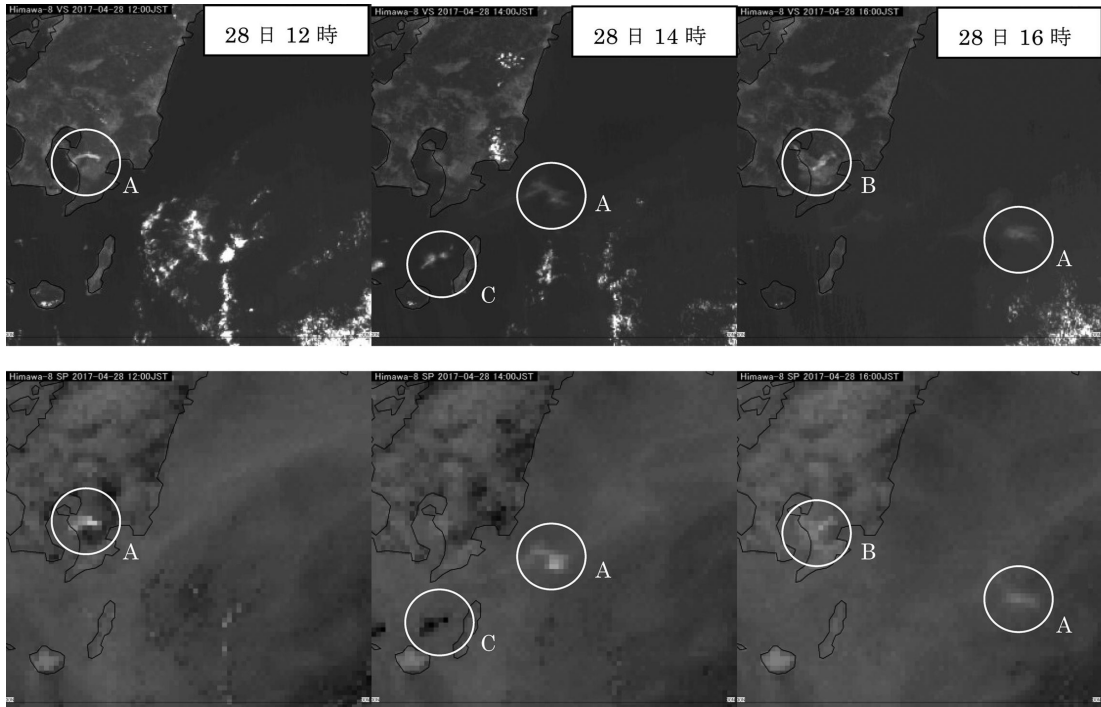
30日(日)鳥取・兵庫県で真夏日

沖縄～東日本は高気圧に覆われ晴れ,最高気温は兵庫県豊岡31.1℃と本州日本海側中心に7月並,北日本は初め晴れたが低気圧接近により曇りや雨,函館市サクラ満開,北海道で震度4。



今月のひまわり画像—2017年4月

桜島の噴煙



第1図 2017年4月28日12~16時（日本時間）の2時間毎の九州南部付近における可視画像（上段）と赤外差分画像（下段）。記号A, B, Cについては本文を参照。

鹿児島県の桜島は、2017年4月下旬から火山活動が活発化し、26日05時11分に昭和火口で高度約1700mの噴煙が観測された。その後小規模の噴火を繰り返した後、28日11時01分には爆発的な噴火があり、この時の噴煙は高度3200mまで上昇し、噴石の飛散が6合目（昭和火口より300~500m）まで確認された。

第1図は28日12~16時（日本時間）の2時間毎の九州南部付近における可視画像（上段）と赤外差分画像（下段）である。ここで赤外差分画像とは、観測波長帯10.4 μm （Band13）の等価黒体輝度温度（以下、輝度温度）から12.4 μm （Band15）の輝度温度を差し引いた画像である。気象衛星が観測する領域に、二酸化ケイ素（ SiO_2 ：火山灰や黄砂に多く含まれる）や薄い上層雲（氷晶）が存在する場合、射出特性や吸収の影響で、10.4 μm と12.4 μm の観測では輝度温度が異なる。二酸化ケイ素が存在する場合は差分画像の値が「-」（マイナスで白く表示）に、薄い上層雲

が存在する場合は「+」（プラスで黒く表示）になる。この特性を利用すると、火山灰と薄い上層雲を容易に判別できる。

第1図の12時の可視画像及び赤外差分画像では、11時01分の爆発的な噴火に伴う火山灰が記号Aの円内に確認できる。この噴煙が上空の北西風に流されながら拡散していく状況を14, 16時の可視画像及び赤外差分画像でも確認できる。この後、桜島では12時49分（噴煙の高度1900m）、14時31分（同1900m）、15時01分（同2100m）に噴火が確認され、同図の16時の画像の記号Bの円内には15時01分の噴火に伴う噴煙が白い領域で解析できる。なお、同図14時の可視画像では、記号Aと記号Cの円内は共に白く、噴煙なのか雲なのかは静止画では区別がつかないが、赤外差分画像では、記号Cの円内は黒く見えることから、薄い上層雲と判断できる。

（気象庁予報部予報課 西村修司）